

## 令和5年度老人保健健康増進等事業

### 介護施設等における生産性向上に関する委員会の実態調査研究事業

株式会社三菱総合研究所

本事業では、有識者からなる検討会を立ち上げ、テクノロジーの活用等の生産性向上の取組に積極的な施設等における委員会の取組について、アンケート調査・ヒアリング調査等を通じて実態把握するとともに、効果的な委員会の実施にあたり必要な事項を検討し、報告書及び事例集・ポイント集としてとりまとめることを目的として実施した。

また、本事業では令和3年度介護報酬改定を受けて、介護ロボットを安全かつ有効活用するための委員会等を含む生産性向上に関する委員会の実態について、約2,300か所の施設を対象にアンケート調査を行った。さらに、令和5年7～10月までに、過年度調査等より把握されたテクノロジーや介護助手等を活用した生産性向上に関する委員会を定期的実施している介護施設・事業所15か所に対してヒアリング調査を行った。

#### 1. 介護施設等における生産性向上に関する委員会の概要

本事業により、介護施設等における生産性向上に関する委員会について、次のような知見を整理することができた。

委員会の目的	・ 委員会の立ち上げに際しては、委員会の設置の目的について改めて検討を行い、合意形成した上で行うことが望ましい。
委員会の設置単位	・ 委員会の設置については、法人（複数施設・事業所）単位での開催や施設・事業所単位での開催、近隣等の複数施設・事業所共同での開催のいずれかを選択することができる。
委員会の設置形態	・ 生産性向上に関する委員会については、生産性向上に関する委員会単独の形や、他の類似した議題の委員会、他会議・ミーティングの場を活用した同時開催の形がある。
委員会の開催周期・回数	・ 委員会の開催周期については、現場側の負担を抑える周期でなるべく定期的で開催するとともに、介護事業所における課題の変化や追加の取組の必要性等の状況を踏まえながら、必要に応じて臨時的な会議を開催する方法も可能である。
委員会の開催方法	・ 委員会の開催方法については、特に参加者が広域に広がっている法人（複数施設・事業所）単位や近隣施設・事業所との共同での開催を行う場合は、オンライン会議やオンラインと対面併用のハイブリッドでの開催を行うことも有効である。
委員会への参加職種・役職	・ 委員会の参加職種・役職については、なるべく多方面からの意見収集や検討ができるよう、管理職や介護職に限らず、現場の職員や多職種が幅広く参加することが望ましい。
委員会の実施の流れ	・ 生産性向上に関する委員会の開催にあたっては、委員会での検討の前に予め職員の意見を収集し、検討結果を職員へフィードバックすることで、改善活動の見直しに活かせるとともに、現場とのつながりの連続性をもつことが望ましい。
委員会にて取り扱う議題	・ 委員会にて取り扱う議題は、「委員会の目的」と照らし合わせて範囲を決めることが必要である。

#### 2. 事例集・ポイント集の作成

本事業での成果に基づいて、「利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会のポイント・事例集（案）」をとりまとめた。

